

リアパネルの修理 (ひげおじさんの絵日記から抜粋)

本日のメインイベントは、mura さんのリアパネル修理。これには、やちまた工房メンバー精鋭が集まってきます。みなさん、「俺の車じゃねえから、いいんだよ。」という人ばかり。車の持ち主には、「全権委任だよ！」と念（とどめ？）を押し（挿し？）、皆さん笑顔で作業に掛かります。



まずは、後部についている部品の取り外し。 アンテナ、バンパー、燈火類。



一番楽しそうに作業に励んでいるのはこのお方。理由は???後ほど明らかかに。



屋根の上には 親方が。我々より一回りは先輩ですが、スイスイと屋根に登ります。勿論、ハシゴは使いません。（この時点でハシゴは既にビスが外され、使えない状態。）

平行して、ガーさんは発電機の修理。「エンジンは、火花、燃料、空気。これがあれば動くの。」とセオリー通りに修理に掛かります。



小一時間で、整備終了。二年間、動かなかった発電機が復活です。

途中、休憩を挟みながら作業は進みます。ファイバーを剥がし、腐った部分を取り除きます。



「仕事は、道具だよ。」と親方。状況に応じて、色々の道具を使い分けます。



午前中で、腐った部分の除去をほぼ終え、午後の部へ。



午後は、取り除いた部分に新しいコンパネを取り付けます。



外したアルミ板から型を取り、新しく貼り付ける合板を切り出してゆきます。



ジグソーを使ったり、丸鋸を使ったり。



裏板のアルミ板とモールを先に取り付けます。



タッカーでバンバンと打ち付けますが、これが気持ち良い！！



次に配線を逃がす溝を切り込みます。



何度か、仮止めをして、微調整。 やちまた工房得意の「現物合わせ」



準備した合板の取り付けです。



24ミリの四八（四尺 X 八尺） これだけあれば丈夫だよ。

確かに。 でもその分、重い。 一人では手に負えるものではありません。



仮止めし、配線の逃がしを修正し、「これでよし。 とめていいよ。」 と親方の号令でボディーにネジ止め。

接着剤をエアガンで吹きつけ、しばし乾かします。



ボンドが少し乾いたところで、外板を貼り付けます。



梯子を取り付ける前にコンパウンドで磨いておきます。「後からだ、ポリシャー掛けられないからね。」 なるほど、何事も作業手順が必要ですね。

外板を張り終えたところで、次は、窓を・・・・・・取り外しちゃいました。原因だった窓枠からの雨水の浸入を根本的に直そうという次第です。外してから判ったことですが、上の隅の防水が殆ど効いていませんでした。「5mm位、上に持ち上げて止めれば、十分に（防水する）代が取れるよ。」ということで、少し上に取り付けて、防水処理。



後は、バンパーなどを取り付けて、本日の作業は終わり。皆さんご苦労様でした。

今日教えて貰ったものの一つ。白金カイロ？ いえいえ。表はギザギザ。裏は平ら。ステン製の塊です。



伸びたものを縮める機能があるそうです。世の中にはさまざまな道具がありますね。